

R2年度 モコ末広保育園自己評価

【職員評価】

- ・今年度は朝9時からMTを取り入れ、毎日の連絡を職員同士で共有できるようにしたり、全体会議の時間を毎月1回2時間設けた。その中で園内研修の時間も作り、連絡事項、保育内容、職員の保育の方向性の統一を図り、報連相や保育の振り返り、保育の知識の向上等ができるよう改善してきた。会議や研修の大切さを改めて感じたが、人数も多く内容の統一をしていく大変さも感じた。
- ・保育の流れの時間を見直し、早番から幼児組は園庭であそび戸外での活動を増やした。子ども主体の保育を職員同士考え、試行錯誤しながら、つながりのある保育が出来るようにしていきたいと考えてきたが、今も課題はあり模索している段階である。
- ・職員同士子どものエピソードや成長を語り、語り合える雰囲気を大切にしていきながら、横のつながり、縦のつながりをもっと深めていけるようにしたかったが、クラスごとの活動が主体となっていたので語り合うのは難しかった。異年齢交流を持ちながら、お互いのクラスの様子や子どもの成長が自然な形で伝えあえるような保育をしていければと思う。
- ・職員一人一人が、子どもの発達過程を踏まえ、クラスの垣根を越えて全職員が全員子ども達を保育していく気持ちで寄り添っていければと思う。その為には子どもの姿を良く見て、「子ども主体の保育」になっているのか？日々の保育の反省や振り返り、計画が大切になってくると感じた。

【保護者アンケート・職員評価をもとに総評】

- ・今年度も沢山のご意見や温かいお言葉をいただいた。改善すべき点については早急に対応していく必要がある。コロナ禍の為、行事の中止や見直しもあり、「子ども主体の保育」の行事への取り組み等では、以前とは違う行事に対してのご意見も頂いた。行事への取り組みでは保護者の皆様に、保育園の方向性を理解して頂けるように伝えていきたいと思う。
- 「子ども主体の保育」とは、子ども達がやりたい遊びを見つけ、夢中になって遊ぶ。自分達で考えて行動できるような子どもになる。等目指す子ども像があるので、保育理念、保育の基本方針、全体的な計画を保育士間で共有していき、日々の保育の反省や振り返りを大事にし、職員全員が同じ方向を向いた保育ができるように語り合いを大切にしていきたい。
- 子どもとの愛着関係を築き、子どもが主体的に遊べるような、環境も作っていきたい。その為には、子ども達一人一人を受け止め、様子や姿を丁寧に見ていく事が大事になってくると感じる。
- ・日々の保育をTwitterで発信したり、写真を利用して「育ち・成長」が見える化していく事で、保育園と保護者とのコミュニケーションを図り、子ども達の成長を共に共感、共有できる関係性を大事に育てていきたいと思う。